

阿刀田高さんと語らう 【本当に面白い短編小説】



講師 小説家 阿刀田高 Takashi Athoda

面白い小説をとことん楽しもう。多彩なストーリーと技をさぐり、読書の楽しさを、とことん味わおう。

面白くなければ小説ではない。面白さの種類はいろいろあるが、望ましいのは面白くて、しかも読者の創造性に寄与する作品だ。私にとって本当に面白かった作品、そして人間を考え、社会を探り、新しい思惑を創るのに役立つ作品を選んでみた。これらを狙上へのせ、おおいに語り合ってみよう。

作品の多様性も今回の特色の1つかと思う。古い作品と現在の濃い作品との対比から見えてくるものもあるだろう。感じ方や好みから、新たに知る自分もあるだろう。そしてもうひとつ、実作者がなにを考えて創るか、工房の秘密も語ってみよう。

阿刀田高

10/15

14:00-17:00

現代の名作
村上春樹『ハナレイ・ベイ』

サーフィンの名所ハワイのハナレイ湾を舞台に、母と子、人間と自然、災害と戦争、そして幽霊奇談、とても味わい深い。人気の高い村上春樹作品の多彩さを楽しもう。

1

10/29

14:00-17:00

男と女のあいだには？
山本周五郎『石榴』

『石榴(ざくろ)』は山本周五郎の短編小説のNo.1ではあるまいか。人間味豊かに、性の真相がドラマチックに描かれていて、深い。

2

11/19

14:00-17:00

現代は母が帰ってくるのだ
重松清『母帰る』
菊池寛『父帰る』

現代を巧みに描く重松清の佳編『母帰る』は、さりげなく、うまい。100年前の名作、菊池寛『父帰る』と対比してみよう。こんなパステーションも小説作法の一つだ。

3

12/17

14:00-17:00

世界的な名品、
たまには長編小説を
安部公房『砂の女』

安部公房の『砂の女』は、人間の実存を問うて世界的な名長編小説だ。一人の人間の失踪と限界状況のビヘイビア、村社会の論理と全編を貫くサスペンスなどを味わおう。

4

1/7

14:00-17:00

センスのよい、野心作
森絵都『風に舞いあがる
ビニールシート』

センス抜群の森絵都の短編集『風に舞いあがるビニールシート』は直木賞受賞作だ。入念に創られた野心作でもある。文庫本に収められた6作のうち『風に舞いあがるビニールシート』『ジェネレーションX』『鐘の音』をおすすめしたい。

5

1/28

14:00-17:00

正統派の力作
松本清張
『或る“小倉日記”伝』

実質的な松本清張のデビュー作。入念に作られた力作だ。松本清張は必ずしもミステリーの名手ではないが、人間と社会の謎を追究する、正統派の真骨頂がよく見える。

6

2/25

14:00-17:00

短編小説、工房の秘密
阿刀田高
『お梶供養』『箱の中』ほか

菊池寛『藤十郎の恋』、ジョン・コリア『死者の悪口を言うな』阿刀田高がどう作品を創ったか。方便を知るために、『お梶供養』には菊池寛の『藤十郎の恋』を、『箱の中』にはジョン・コリア『死者の悪口を言うな』をのぞいてみよう。

7

阿刀田さんが選んだ短編小説を、 阿刀田さんと味わう

作家として900編を超える短編小説を書き続け、ずっとアイデアを求め、人生を、人間を、恐怖を、ユーモアを綴るとともに、長きにわたり直木賞選考委員や日本ペンクラブ会長を務めてこられた阿刀田さんならではの視点と構成で、短編小説を味わいます。

小説を通して広がる世界

小説を読めば、私たちの感性がゆさぶられます。そこに人間を、人生を、社会を見ます。阿刀田さんとともに文学を通して、視野や感性の広がりを楽しみましょう。

講師プロフィール

阿刀田 高(あとうだ たかし)

昭和10年(1935年)東京生まれ。早稲田大学文学部仏文科卒業後、一時国立国会図書館に勤務。その後軽妙なコラムニストとして活躍した後、短編小説を書き始め、昭和54年『来訪者』で日本推理作家協会賞、短編集『ナポレオン狂』で直木賞、平成7年『新トロイア物語』で吉川栄治文学賞をそれぞれ受賞。

著書に『知っていますか』シリーズや短編集など多数。近著に『オトナの言葉の愉しみ方』『地下水路の夜』『アンブラッセ』など。

国語制作への寄与などに対して2003年紫綬褒章、2009年旭日中綬章受章。日本ペンクラブ第15代会長、1995年から2013年まで直木賞選考委員などを勤める。山梨県立図書館長。

開催概要

日程	2016年 10/15、10/29、11/19、12/17、 2017年 1/7、1/28、2/25(すべて土曜日)
回数	6回
時間	14:00 - 17:00 (3時間)
定員	25名
会場	慶應丸の内シティキャンパス
参加費	108,000円 (消費税8%込)
お勧めしたい方	◎小説をより楽しみたい方 ◎知的創造の探索を楽しみたい方

FAX申込書 FAX 03-5220-3129

必要事項に記入の上、FAXにてお送り下さい。

※お申し込みの際は末尾のキャンセル規定・諸注意を必ずお読み下さい。
本申込書の受領をもってその内容を承諾いただいたものとみなします。

インターネットでのお申し込みは

<http://www.sekigaku-agora.net/>

参加者

講座名	阿刀田高さんと語らう【本当に面白い短編小説】 <input type="checkbox"/> agoraメンバーシップに申し込む
会社・団体名	
所属	
フリガナ	
氏名	
住所 (資料送付先)	<input type="checkbox"/> 自宅 <input type="checkbox"/> 勤務先 (いずれかにチェックを入れて下さい) 〒
TEL	-
FAX	-
e-mail	

■キャンセル規定・諸注意

キャンセルのお申し出をされた場合、下記規定に基づいてキャンセル料をお支払いいただきます。いかなる場合も、参加費のお支払いのないことをもってキャンセルとはなりません。キャンセルの際は必ずご連絡下さい。 ◆開講28日前まで：キャンセル料は発生しません。 ◆開講27日～21日前まで：参加費の30%をキャンセル料としてお支払いいただきます。 ◆開講20日～14日前まで：参加費の50%をキャンセル料としてお支払いいただきます。 ◆開講13日前以内：参加費の全額をキャンセル料としてお支払いいただきます。ただし、当方の都合で開催を中止する場合は全額返金いたします。また、お申し込み日を含む8日間以内にキャンセルのご連絡をいただいた場合は、開講までの日数にかかわらずキャンセル料は発生しません。

個人情報の取扱いについて(必ずお読みください)

ご参加のお申し込みにあたり、お客様から氏名、住所等の個人情報のご提出をお願いしております。以下のサイトをご確認の上、ご同意いただける場合のみ、個人情報の提出をお願いします。また、お申し込みをもって下記にご同意いただいたものとみなします。
<https://www.keiomcc.com/privacy.html>

なお、Webを見ることができない場合、または上記に関するご質問等ございましたら、右記までお問い合わせください。

支払方法

支払名義	<input type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 法人
支払方法	<input type="checkbox"/> 銀行振込 (振込手数料をご負担下さい) <input type="checkbox"/> クレジットカード

割引制度 (個人申込のみ)

<input type="checkbox"/> 複数申込割引 下記に他講座名を記入して下さい [_____] <input type="checkbox"/> 継続受講割引 <input type="checkbox"/> 慶應カード割引
--

■割引制度(個人)

【複数申込割引】…一度に複数の講座へお申し込みされる場合、参加費を最大20%割引いたします。慶應MCCで開催する「知的基盤能力プログラム」や「先端・専門プログラム」との組み合わせも対象となります。(『夕学五十講』を除く。)
◆20%割引: 108,000円(税込)以上の、『agora』および「知的基盤能力プログラム」を複数同時に申し込んだ場合
◆10%割引: 上記以外の講座・プログラムを複数同時に申し込んだ場合
【継続受講割引】…過去慶應MCCの講座・プログラムに参加し、終了日より1年以内にお申し込みをされた場合、参加費を10%割引いたします。(『夕学五十講』を除く。)過去に法人名義で参加された方も、個人で申し込む場合は対象となります。
【慶應カード割引】…慶應カード会員の方が個人でお支払いいただく場合に限り、参加費を10%割引いたします。慶應カードとは、慶應義塾とクレジットカード会社との提携クレジットカードです。塾員・教職員および学生を対象としています。

■割引制度(法人)

『agora』およびビジネスプログラムへ一度に5名以上派遣される場合、合計人数に応じて参加費を割引いたします。(『夕学五十講』を除く。)詳しくは下記までお問い合わせ下さい。 ※一部適用されない場合がございます。

〈お問い合わせ先〉

東京都千代田区丸の内2-5-2
三菱ビル10階 株式会社慶應学術事業会 TEL:03-5220-3111
E-mail:info@keiomcc.com

今後慶應MCCより各種情報をご案内させていただきたく存じます。
ご不要の方は右記にチェックをお願いします。